

船舶事故等調査報告書

平成24年7月26日  
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故等番号	2011広第98号	
事故等種類	衝突（岩場）	
発生日時	平成23年5月22日 07時00分ごろ	
発生場所	島根県松江市沖ノ御前島 松江市所在の美保関灯台から真方位044° 3,300m付近 （概位 北緯35° 35.4′ 東経133° 21.1′）	
事故等調査の経過	平成23年6月3日、本事故の調査を担当する主管調査官（広島事務所）を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。	
事実情報	船種船名、総トン数 瀬渡船 第3ふくまかん丸、9.7トン 船舶番号、船舶所有者等 272-12876島根、個人所有	
乗組員等に関する情報	船長、一級小型船舶操縦士・特殊小型船舶操縦士・特定	
死傷者等	なし	
損傷	船首部外板に破口	
事故等の経過	<p>本船は、船長が1人で乗り組み、釣り客5人を迎えに行くため、沖ノ御前島南岸に着岸作業中、平成23年5月22日07時00分ごろ、高波を受け、本船の船首が岩場に衝突した。</p> <p>船長は、釣り客から「海上が時化始めたので迎えに来てほしい」との連絡を受けたので、沖ノ御前島へ向かった。</p> <p>船長は、釣り客を乗せるため、機関を使用して岩場に船首を押し当てていた。</p> <p>本船は、船首に防舷材としてゴムタイヤを設置していたが、高波を受けて防舷材がずれ、船体が岩場と衝突した。</p> <p>本船は、船首部が損傷したが、釣り客を乗船させて松江市美保関漁港へ入港した。</p>	
気象・海象	気象：天気 雨、風向 北東、風力 5 海象：潮汐 上げ潮の末期、波高 約1.5m	
その他の事項	船長は、沖ノ御前島へ釣り客を迎えに行くことはよくあり、沖ノ御前島への着岸経験は豊富であった。	
分析	乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象の関与 判明した事項の解析	あり なし あり 本船は、沖ノ御前島に着岸作業中、波を受けたことから、同島の岩場に船首が衝突したものと考えられる。
原因	本事故は、本船が、沖ノ御前島に着岸作業中、波を受けたため、同島の岩場に船首が衝突したことにより発生したものと考えられる。	
参考	今後の同種事故等の再発防止に役立つ事項として、次のことが考えられる。 ・瀬渡船の船長は、気象、海象情報を適切に入手し、天候の変化に継続	

	<p>して注意を行い、荒天が予想される場合には、早めに釣り客を迎えに行くなどの対応をすること。</p>
--	---